

署名提出前集会演説

2015年3月24日（火）12:00~13:00の中、10分間

福井県庁前（明治安田生命ビル前）

演説者：山本富士夫「もう動かすな原発！福井県民署名」共同代表

ご通行中の皆さま！

私たちは、「もう動かすな原発！福井県民署名」の集計結果を、知事に提出するために、ここ県庁前に集まっています。

私たちは、先月(2/13)知事に署名を渡そうとしましたが、知事は受け取りを拒否し、会見の場所に出て来ませんでした。代わりに職員二人が出てきましたが、私たちは、職員に署名を渡さず、持ち帰りました。

その後、高浜原発の再稼働をめぐる動きが急展開してきました。高浜町議会は、再稼働ありきの既定路線に沿って、3月20日に再稼働の同意を決め、町長に報告しました。しかし、福井県知事の同意まではまだ時間がかかります。

3月11日に福井地裁で「高浜・大飯原発差し止め仮処分」の第2回審尋がありました。そこで、樋口裁判長は審理を終了し、次回に「決定する」と言いました。もし、裁判長が「運転差し止めの仮処分」を決定すれば、関電は、本訴を起こしてそれに勝つまで、多分数年間高浜原発3、4号機を再稼働できなくなると、言われています。

私たちは、この「差し止め仮処分」に勝利するために、原告団、その弁護団だけでなく、樋口英明裁判長と二人の裁判官を力強く支援します。

さて、福井県知事選挙は、明後日26日に公示されます。4期目を目指す現知事の対立候補として「再稼働阻止」を訴える金元幸枝さん（日本共産党公認候補・「県民が主人公の県政をつくる会」推薦）が立候補を表明しています。立憲民主主義を護り、原発のない新しい福井を作ろうとする金元さんを支援しましょう。

私たちは、西川氏が知事として県民のいのちと暮らしを護る責任感を持たないことを十分知っています。彼は、先月の署名提出の時に私たち県

民を虫けらのごとく扱う態度を県庁職員にとらせました。民主主義を破壊し、原子カムラに追従した西川知事に私たちはもう県政を任す訳にはいきません。

私は、科学者として、原発の事故・故障の調査・研究をもう 40 年以上やってきました。

福井県にある原発は、既に老朽化しています。これまでに、燃料棒折損事故、蒸気管破裂事故、放射能漏洩事故、Na 漏洩火災事故など、大事故にならなかったものの、多くの事故・故障を起こし、事故隠しや事故の過小評価が繰り返されてきました。

核燃料サイクルの技術は、まだまだ完成できそうにない中で、高浜原発 3 号機ではプルトニウムを混合した MOX 燃料を使おうとしています。これは、原子炉にとっても有毒であり、核のゴミとしても処理処分ができない、極めて危険なものです。政府も電力事業者も、核のゴミの後始末については、全く手つかずのままです。無責任そのものです。

原子力事業者が、原発バラ色論やクリーンエネルギーで環境に優しいなどと言ってきたことは、ついに福島原発災害で「ウソ」であることが明らかになりました。原発安全神話も原発必要神話も崩壊しました。原発がなくても電力が足りています。今では、国民の大多数が原発のない社会を望んでいます。

皆さん！福島原発災害を繰り返してはならないことは、実は、邪悪なる原子カムラの人たちもわかっています。しかし、彼らは、言うまでもなく、「いのちよりカネ」が欲しいため、それも、当面の利益だけを求めているのです。彼らの原発推進は、とても持続性があるとは言えないものです。

高浜原発も大飯原発も関電が事業者です。関電は、東電と同様に、否、それ以上に、杜撰な会社です。これまで杜撰さによる事故故障を繰り返し、時には隠蔽するなどしてきました。その杜撰さは余りにもひどいため、私たち脱原発科学者は、言いたくもないのですが、次の原発災害が起こるとしたら、関電の原発だろうと思っているのです。

ご通行中の皆さん！

もし、皆さんの中に原発の再稼働に賛成される方がおられるならば、私はその方に「原発災害に遭遇する覚悟をお持ちか」と問い質したいと思います。

フクシマでの原発被災者の賠償や復興は、多くの問題を生み出しています。被災者の多くは、ますます苦悩に満ちた生活へと追い込まれています。それは、今も避難している人が12万人もいること、生きる希望を失った人たちが大勢いることから明らかです。

安倍政権の言う「世界一厳しい規制基準」というのは、全くのでたらめです。それは、国際基準では、重大事故を想定した上でちゃんと避難できることが義務づけられているにもかかわらず、日本の規制基準は避難については何も規定していないことから、明らかです。

皆さん！原子カムラ（原子力に群がる利権共同体）という巨大な権力に従い、当面のくらしの安定を原発に依存していたら、この世は一体どうなりますか？子々孫々にまで大きな負の遺産を残してしまいます。そんなこと、許されないでしょう。

フクシマを見て、多くの国が脱原発へと政策転換をしています。先日来日されたドイツのメルケル首相は、安倍首相に脱原発と再生可能エネルギーへの転換を勧めましたが、安倍首相は、彼女の勧めを受け入れませんでした。安倍首相のエネルギー政策は、原発に多くの予算を投入したものであり、それは世界の流れに逆行しています。

原発は、放射線環境汚染と健康被害をもたらすものです。どう考えても、原発は人間社会には合わないのです。私たちは原発のない社会へと転換しなければなりません。

原発の重大事故は、人為ミス、自然災害（地震、津波、火山噴火など）、軍事テロ、サイバーテロがトリガーとなって、起こります。重大事故を

完全に避けることはできないのです。

もう一度申しますが、福井で原発災害が起きないという保証はないのです。とくに関電の杜撰さは目に余るものがあり、原発災害の恐れを否定できないのです。

皆さん！再稼働を容認するならば、フクシマ並みの原発災害を覚悟しなければなりません。そのような覚悟ができますか？覚悟のほどを真剣によく考えて下さい。国も県も、防災・避難について全く責任をとらないのですよ。

私たちは、今から県庁に入り、今日は20万5千9筆の署名を提出してきます。知事に「原発の再稼働を認めないでください」と要請します。

私たちの汗と涙で集めた署名の重みと要請事項を、西川知事が無視することがあれば、私たちは今まで以上に「再稼働阻止」の運動を強め、今度の知事選や司法判断に大きな影響を及ぼすように、頑張ります。

ここに、私たちは、原発の再稼働を許さないために、力強くたたかう覚悟を表明します。

(付録)

【要請趣旨】

未曾有の災害をもたらした福島原発事故は、3年余を経た今も収束していません。大量の汚染水や放射性物質は環境を汚染し続けています。

その上、使用済み核燃料の最終処分方法は未解決で、危険な「核のゴミ」が貯まり続けています。

また、福井県がつくった原発災害時の被ばく防護・避難計画は実施不可能なものであり、一旦事故が起こったら住民は逃げることもできません。

5月21日に福井地方裁判所は、人格権の価値を最優位に置いて「大飯発電所3号機及び4号機を運転してはならない」という判決を出しました。福井県もこれを尊重して下さい。

以上から、現在を生きる私たちと未来の子供たちが健康で安心して暮らせるように、原発の再稼働を認めないでください。そして、原発をなくして、新しい仕事と雇用を増やす福井県にしてください。